



自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか



令和4年(2022年)
5月6日
金曜日
第247号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

保存版

静岡県教員育成指標を改訂しました

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、生涯を通じて学び続け、子供たちの伴走者として夢の実現へと導く教員の育成を目指す

改訂の趣旨

平成29年に策定された静岡県教員育成指標は、学習指導要領や令和3年1月中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」、「静岡県教育振興基本計画」などを踏まえ、令和4年度に改訂しました。

活用方法

「教員等育成指標活用のための補助資料」に掲載

自己の教職キャリアをデザインするための目標設定

短期目標	単年度で達成したい目標	年度初め等に、身に付けたい資質能力を明確にする。
中期目標	数年後までに達成したい目標	次のキャリアステージで求められる資質能力を見据えた上で、チャレンジしたいことを明確にする。
長期目標	退職までに達成したい目標	自己の教職キャリアを見通したとき、自らの理想の教員像を追求し続けるための目標を設定する。

学校組織(校内研修等)での活用

「教員は学校で育つ」という言葉があるように、全ての教育活動を通して、児童生徒と一緒に教員も育っていることに着目し、学校の実態に合わせた組織的な活用を進める。

個人での活用事例 ~それぞれの立場で~

- 教育活動の中で自分が求められている姿を具体的にイメージする。
- 教員人生を見通して、主体的・継続的に学び続ける。

静岡県教員育成指標(副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭等)

キャリアステージ	採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
資質能力	○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。	○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。	基礎・向上期に身に付けた力に加え、 ○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。	充実・発展期に身に付けた力に加え、 ○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。
キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける				
教育的素養・総合的人間力	○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、子供への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。 ○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。 ○「才徳兼備」の人づくりを担う一人として、常に児童生徒の模範となるよう行動している。			
授業力 授業づくりに関わる力 教科領域専門性/児童生徒の実態把握/授業構想・授業展開/個に応じた指導/ICT・教育データを活用した指導/評価・改善 など	○学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導内容や指導方法(ICTを活用した指導方法含む)について理解し、実践しようとしている。	○児童生徒の実態把握を的確に行い、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業を実践している。 ○幼小中高の学びの連続性及び教科等横断的な視点を持った授業を実践している。 ○各教科等と地域の人的・物的資源をつなげ、学習成果を高める授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○児童生徒個々の特性に合わせ、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業、幼小中高の学びの連続性と教科等横断的な視点を持った授業の実践を深めている。 ○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。 ○地域の人的・物的資源を有効活用し、高い学習効果を上げる授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○変化を恐れない積極性とリーダーシップを持ち、授業力向上のための体制づくりに参画している。 ○自己の確かな実践に基づき、学校・家庭・地域の実態や特性等を踏まえ、児童生徒の資質能力を伸ばすためにICTの効果的な活用等、必要な指導計画の策定とその実践をリードしている。 ○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。
生徒指導力 児童生徒理解を深め、健やかな成長を支援する力 児童生徒理解/学級経営/生徒指導(ICT・教育データの活用)/特別支援教育/ユニバーサルデザインの視点の共有/人権教育/キャリア教育/SDGs/保護者・地域・外部と連携した指導/グローバル人材の育成 など	○児童生徒の発達等に関する知識を得ることや、多様な児童生徒と接する経験を持つことなどを通して、児童生徒理解に努めるとともに、人権尊重の意識を深めている。	○児童生徒一人一人に寄り添い、個々の特性に応じた発達を促すとともに、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう、地域や外部関係者と連携して支援している。 ○保護者等との信頼関係を基盤とした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。 ○特別支援教育の対象となる児童生徒一人ひとりに応じた指導計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な指導を行っている。	○児童生徒一人一人を取り巻く環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。 ○外部機関と連携し、主体的・組織的に生徒指導に取り組んでいる。 ○特別支援教育に関わる専門性を高めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。	○児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域・外部関係者に働き掛け、学年・学校全体として生徒を支援する機能の充実を図っている。 ○外部機関と連携して組織的な生徒指導を推進し、指導・助言を行っている。 ○児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図っている。
教育業務遂行力 授業力、生徒指導力以外の専門的な力 様々な教育課題(社会の変化、継続的な業務改善、校務におけるICT・教育データ活用等)への対応/管理(安全対策、保健管理栄養・衛生管理) など	○教員の仕事の全体像を認識し、教育に携わる者として、社会の変化や様々な教育課題等について関心と知識を持っている。	○様々な教育課題に対応するため必要な知識・技術を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。 ○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止の実施が迅速にできている。	○様々な教育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。 ○危険を予測した未然防止の取組、事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止が、同僚と協働して組織的にできている。	○様々な教育課題に対して模範となる実践を行うとともに、学校全体を見据えて、魅力ある学校づくりを推進している。 ○危険の未然防止や事故等の再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。
組織運営力 組織目標を達成するために必要な力 対話・協働・信頼/コミュニケーション/ファシリテーション/課題解決/危機管理/コミュニティ・スクール活用/ICT・教育データ活用/人材育成 など	○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。	○組織の一員として、学校経営計画の実現に向け、他の教職員と協働して自らの役割に課せられた責任を果たしている。 ○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、後輩のよき相談役となっている。	○学校経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。 ○教職員間の信頼に基づき、多様な意見を尊重して、リスク回避に努め、組織的な学校改善を推進している。	○学校運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。 ○チームとしての学校として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。危機管理を徹底させている。 ○人材育成の重要性を踏まえ自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。

ホームページには「教員育成指標」「校長育成指標」「教員等育成指標活用のための補助資料(養護教諭・栄養教諭・幼稚園等教員に関する資質能力)」等を掲載しています。ぜひご覧ください。
【教育政策課】 <http://pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-020/kyouinikuseikyougikai.html>

実践NOTE⁴⁹¹ 端末の活用で重ねる試行 深まる思考

～数学の教科指導におけるICT機器の活用～

静岡大学教育学部附属島田中学校 教諭 稲熊 紀昭

Chromebook は文房具

GIGAスクール構想により、小中学校に一人一台端末が配備されました。前任校の焼津市立大村中学校では、令和3年度から本格的にChromebookを活用し始めました。校内ICT活用推進リーダーであった私は、とにかくさまざまな場面で積極的に端末を使うことを意識しました。活用する場を増やすことで、生徒にとってChromebookは特別な道具なのではなく、「文房具」のように常に傍らにあって活用するものになりたいと考えました。



筆者

ピンチがチャンスに

昨年9月、コロナ禍による休業に伴い、生徒たちの学びの機会を保証しようとさまざまなアイデアを考えました。その一つがGoogle社の会議アプリケーション「meet」を活用した双方向型の授業です。結果的にこのことで校内における端末の活用が進みました。

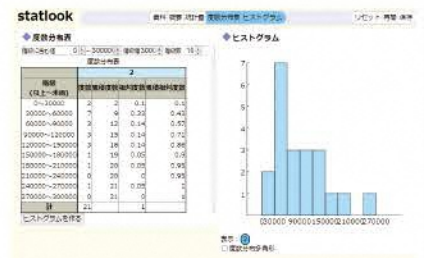


オンライン授業中の教室

個々で考えた方法で課題解決に迫る生徒たち

1年生の『データの活用』では、「焼津市の人口は多いのか」という課

題に対し、生徒たちはおのおの方法でデータの分析を始めます。静岡県内の全市町の人口を調べる生徒、人口密度を調べる生徒、分析するデータの範囲を静岡県全域や中部地方、県内の市のみで考える生徒など、端末を活用することで、インターネット上のデータを参照して、生徒は個々に追究を進めることができました。集めたデータを度数分布表やヒストグラムにまとめる生徒は、統計ソフト『statlook』*を活用しました(*静岡大学 裕元新一郎教授作成)。生徒たちは階級の幅をいろいろな値に設定しより傾向が見つかりやすい形を探っていました。ノートにいくつも度数分布表を書かなくても、最適なものを見つけやすくなりました。



生徒が作成した度数分布表とヒストグラム

これからのICT機器活用

今後、生徒用デジタル教科書やMEXCBTの運用に伴い、授業のデジタル化は一層進んでいきます。授業でICT機器を「使うこと」にとどまらず、「主体的・対話的で深い学び」の充実のために、さらに効果的に活用していきたいと思えます。



Chromebookを使用する生徒たち

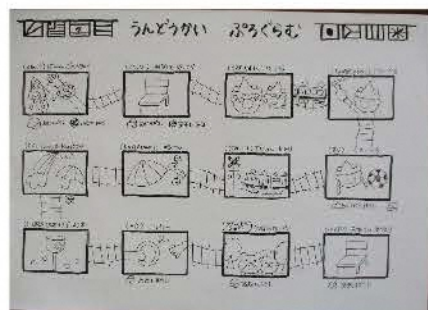
実践NOTE⁴⁹² 「やりたい!」の実現のために

三島市立北幼稚園 教諭 金崎 えり子

誰にでもわかりやすい保育を

どんな苦手さがある子も、クラスみんなと同じように「やりたい!」を感じるためには、どの子にもわかりやすい保育の工夫は欠かせません。また、行事への取り組み方ひとつで、子どもたちの「やりたい!」が大きく変わってきます。園外保育の時には「行先までの地図」を、運動会の際には「子どもたち用のプログラム」を必ず作成します。どんな苦手さがある子も、主体的に取り組むことができるためのものでもあります。

どの子も目を輝かせて見入り、家庭で色を塗ったり、保護者の方と気づいたことを書き込んだりして当日を迎えます。私が子どもたちに与えるものはただのきっかけに過ぎません。そのきっかけを得て、子どもたちがどう感じたのか、どう行動するのか毎回とても楽しみでなりません。



子どもたち用の運動会のプログラム



子どもたちが小学校に向けて書いた手紙

製の地図を見ながら一人の男児が「お兄ちゃんの学校通る!」と気づきました。お兄ちゃんに会いたいな、そんな思いが膨らんで「手紙を書く」という行動につながりました。一人の「やりたい」がクラス皆に伝わった瞬間でした。皆で意見を出し合い、手紙が完成。この時には子どもたちの顔は充実感であふれ、ワクワクが止まらない様子。当日、なんと手紙を見た校長先生、教頭先生、そして男児のお兄ちゃんが小学校の前で待っていてくれたのです。クラス皆がとても喜び、間違いなく心が動いたことを感じた出来事でした。



金槌をつかって野菜の看板づくり

充実感の先に

幼稚園でたくさんの「やりたい!」をかなえてきた子どもたちは、さまざまな力を発揮してくれます。その充実感は小学校での学びの芽にもつながると考えられます。また子どもたち自身の自己肯定感を高めることにもなります。



筆者

一人の「やりたい」を大切に

園から徒歩で約1時間かかるお寺に園外保育に行く1週間前、教師特

ですが充実感を得られたらゴールではありません。今後も充実感の先に感じるであろう、子どもたちのさまざまな気持ちを見守り支えながら、丁寧な質の高い保育を心掛けたいと思えます。

総合教育センター **希望研修を受講しませんか**

令和4年度の希望研修申込みを4月19日(火)から開始しました。今年度も様々な研修を用意していますので、自分の課題にあった研修がきっと見つかります！皆さんの受講をお待ちしています。

申込期間	4月19日(火)から各研修実施日の6週間前まで ※申込数が定員に達し次第受付を終了します。
申込方法	<p>研修管理システムからお申し込みください。</p> <p>①以下のURLからログイン専用ページにアクセス。 https://shizuoka.generalist.jp/tsblms/</p> <p>②ログインIDとパスワードを入力して、ログイン。</p> <p>③左上のタブ(横三本線)から、検索ボタンをクリック。</p> <p>④キャリアステージなどから受講する研修を検索し、該当の研修にチェックを入れて、受講申請完了。 ※受付を終了している研修は検索時に表示されません。</p> <p>⑤申請が完了したら、各所属の管理職に承認依頼をする。</p>



研修管理システムのマニュアルは **コチラ**
(管理職の承認方法など)



詳細は「令和4年度 研修ガイドブック」(P.22)を御確認ください。

★★ 令和4年度注目の新規研修 ★★

教科担任制が始まる 今だから

小学校理科 教材づくり研修

「理科の専門的な内容がよく分からない」「観察・実験をすることに不安がある」といった思いはありませんか？本研修で、その不安や苦手意識を解消します。研修したことは、明日からの理科授業にすぐに活用することができます。

高校も新学習指導要領スタート

探究指導者養成研修

高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて

探究の要となる「課題設定」のワークショップを通して、「総合的な探究の時間」の目標、単元構想、指導方法について学びます。

「総合的な探究の時間」の指導について、「指導方法を学びたい」「校内で推進したい」という先生にお勧めです。

事務職員の新たな職域を発見

事務職員のための 学校マネジメント研修

事務室の今後を考えてみませんか？働き方改革などの国の動向や、近未来の学校事務室について、講師から直接お話を伺うことができる貴重なチャンスです！**(オンラインで実施)**

【総合教育センター 総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班】 TEL 0537-24-9706

幼児教育センター事業紹介
「GOOD DESIGN AWARD」

保育所、認定こども園、幼稚園、公立、私立…幼児教育の現場には多様な施設が存在します。幼児教育を推進するにあたって各市町は、施設種の違いに配慮しながら、特色ある取組を進めています。静岡県幼児教育センターでは、そんな市町の工夫や努力を顕彰し、好事例を普及することを目的に、「GOOD DESIGN AWARD」を実施しています。令和3年度は3つのカテゴリーで以下の3市が受賞しました。教職員の皆様にも、自治体の取組に関心をもっていただき、県内の幼児教育が一層推進するよう応援していただきたいです！

- 浜松市 全ての施設種を含めた体制作り**
浜松市は幼児教育推進協議会を設置しており、その委員は、公私立の幼稚園・保育所・認定こども園・認可外保育施設等、関係部局の担当者で構成され、オール浜松で連携する体制を構築しています。また、市内にある全ての施設種を対象とした研修を実施していることや、幼児教育アドバイザー派遣モデル事業を実施し、保育所や認可外保育施設にも訪問支援を行っていることなどは、他市町でも参考になる取組です。
- 富士市 保育者のキャリアに応じた研修体制構築**
富士市は、人材育成指標を基に多種にわたる研修を実施し、特に、保育士のために市独自で保育キャリアアップ研修を実施していたり、管理職対象の研修を実施していたりする点が高く評価されます。また、オンライン研修の導入等、保育者の多忙化に対応した方法で研修を実施していたり、幼稚園や認定こども園の初任者だけでなく、保育所の初任者に対しても指導員をつけて訪問指導をしていたりする点は、他市町でも参考になる取組です。
- 袋井市 ICT活用における園務環境の整備**
袋井市は、ひとり1台、PCが整備されており、業務支援ソフトを活用して、様々な業務の改善や情報の受発信の推進が図られています。保護者も職員も負担の軽減につながっている点やオンライン研修の充実を図るための体制づくりが私立園も含め図られている点、保育の質の向上という視点でICT活用の効果の実証を進めている点などは、他市町でも参考になる取組です。



幼児教育センターでは、県内の幼児教育に関わる情報発信の他、教職員の皆様に役立つ保育資料の提供や研修会を実施しています。詳しくは「静岡県就学前教育情報発信サイト」をご覧ください。また、センターだより「わっ！びよん通信」にも豊富な情報を掲載しています。就学前教育推進情報サイトをぜひご覧ください。

静岡県就学前教育情報発信サイト

静岡県幼児教育センター

【義務教育課】 TEL 054-221-3287

小学生・中学生向けに 食品ロス削減出前講座を実施しました!

県では、令和3年度に小学生(4~6年生)及び中学生を対象に、給食等の食品ロス削減に向けた出前講座を実施しました。

講座を通して、環境問題や飢餓、命の問題を学び、さらに、中学生はSDGsのグループワーク等を行うことで、食品ロスの問題について考えました。

食品ロス削減に向けて自分たちにできることを考える場面では、子どもたちから「給食を好き嫌いせずに残さず食べる」や「買いすぎないように冷蔵庫を確認してから買い物に行く」等の意見が挙がりました。



小学校向けの出前講座の様子

出前講座を希望するには?

本出前講座は令和4年度も実施予定です。例年5月頃に、県教育委員会健康体育課の協力のもと、出前講座の実施希望を伺っています(応募多数の場合は実施校を選定することがあります)。

出前講座の希望があれば、ぜひ御応募ください。

食品ロス削減授業

～食品ロスについて考えよう～

出前講座のパワーポイント

学習指導教材を公開中! ぜひ御活用ください!

県ホームページでは、出前講座で使用する学習指導教材を公開しています。各学校の授業科目等に応じて、授業展開案やパワーポイントをアレンジして活用してください。

【廃棄物リサイクル課】 TEL 054-221-2426 **詳しくはこちらから**

令和5年4月に開校する 県立学校の校名が決定しました!

●静岡県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)

磐田市(本校)と三島市(分教室)に開校する静岡県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)

校名▶ **静岡県立ふじのくに中学校**

●伊東地区新構想高等学校

県立伊東高等学校と同城ヶ崎分校、県立伊東商業高等学校を改編

校名▶ **静岡県立伊豆伊東高等学校**

(全日制:普通科・商業科/定時制:普通科)

*東部特別支援学校伊豆高原分校を併置します。

●富士・富士宮地区特別支援学校新分校

県立富士東高等学校の敷地内に設置する富士・富士宮地区特別支援学校新分校

校名▶ **静岡県立富士特別支援学校富士東分校**

(高等部)

【義務教育課・高校教育課・特別支援教育課】

富士山静岡空港から 「教育旅行」に出掛けよう!! vol.21 | 教育旅行調査団を出雲・沖縄へ派遣



出雲大社を視察する調査団



世界遺産 今帰仁城跡の視察

教育旅行先視察

富士山静岡空港利用促進協議会は、教育旅行を検討している先生方を対象に、候補地(出雲・沖縄)へ調査団を派遣しました。調査団は歴史・文化的に価値のある施設等を確認し、教育的効果を確認しました。

- ★富士山静岡空港を利用した教育旅行の支援制度について
- ★教育旅行調査団の派遣について

各種支援制度がありますので、お気軽にご相談ください。

【県空港振興課】 TEL 054-221-2777

祝ご進学・ご進級
おめでとうございます!



子供を犯罪被害から守るために!

SNS起因の性被害が増えています。スマホやタブレットへのフィルタリング※1の設定や、子供と一緒に家庭のルールを決めるなどペアレンタルコントロール※2をお願いします!

- ※1 フィルタリングとは、犯罪に関する不適切なサイトやアプリを利用できないようにブロックすること。
- ※2 ペアレンタルコントロールとは、保護者がインターネット利用を適切に管理すること。



県・政令市教育長と
県警本部長による
共同メッセージ

困ったときの相談窓口

少年サポートセンター(少年相談専用ダイヤル)

☎0120-783-410

静岡県警察本部 少年課

生活困窮世帯の子どもたちへの 学習支援として、学びの心育成支援 事業を実施しています!

小学生から中学生に対する支援

経済的な理由で塾などに通えなかったり、旅行等の社会的体験の不足などにより将来に希望を持てなくなる子どもたちがいます。そこで県では郡部(町)の子どもたちを対象に、学習・生活習慣などを整える手助けを行うことで、子どもたちが将来への希望を持ち、自立につながるよう、「通所」や「合宿」形式による「学びの場」を提供しています。



通所の様子



合宿の様子(職業体験)



合宿の様子(ラグビー体験)

先生方へのお願い

郡部に在住する生活困窮世帯の子どもで、当事業へ参加を勧めてみたい生徒がいらっしゃいましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います。

【健康福祉部地域福祉課生活保護班】 TEL 054-221-2326

静岡教弘 教育研究 実践論文 募集

静岡教弘最優秀賞
学校部門 60万円
個人・グループ部門 30万円

後援
文部科学省
静岡県教育委員会
静岡市教育委員 浜松市教育委員会
静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部

静岡教弘教育研究実践論文募集

2022年8月31日(水)応募締切

静岡教弘最優秀賞
学校部門 60万円
個人・グループ部門 30万円

後援 文部科学省
静岡県教育委員会
静岡市教育委員 浜松市教育委員会
静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社



公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部

TEL 054-205-5130

詳しくはこちらの
リーフレットをご覧ください!

広告